



のりみが行く!!

市政報告

発 行：自民党横浜市会議員団
編 集：高橋のりみ政務調査事務所
事務所：金沢区六浦 1-13
電 話：045-780-3199
メール：norimi.takahashi.love@gmail.com
サイト：<http://norimi.jp>

のりみ vs. 鯉渕教育長 横浜市会 平成 29 年度 決算特別委員会 教育委員会局別審査

1 29 年度決算の総括

のりみ

教育委員会は、学校施設の整備や管理運営に加え、困難を抱える子どもたちへの対応など、どの課題も早急な対応が必要な事もあります。29年を振りかえった所感は？

教育長

特に 29 年度の大きな成果として挙げられるのは、県費負担教職員の市費移管が実現し、任命権者と給与負担者が異なる「ねじれ状態」が解消されたことです。

また、「横浜教育ビジョン 2030」や「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」、「教職員の働き方 改革プラン」の策定、いじめ防止対策の推進、日本語 支援拠点施設「ひまわり」の開設や「左近山特別支援学校」の工事着工など、厳しい財政状況の中ではありましたが、第 2 期横浜市教育振興基本計画に基づいた取組や、時代のニーズや様々な課題を捉えた新たな取組を 着実に進めてまいりました。

のりみ

横浜の未来を創る子どもたちへの教育予算の確保が必要では？

荒木田副市長

これからますます複雑で変化の激しい時代に求められる人を育成するために、子どもたち一人ひとりの可能性を広げる教育を推進することはもちろん、学びの場である学校施設の計画的な建替え・維持保全、いじめや不登校への対応、働き方改革等への取組などにより、魅力ある学校づくりを進めることができます。横浜の未来を創る子どもたちのため、教育予算を確保してまいります。

2 市立高校におけるものづくりの興味や関心を高める取組

のりみ

工業高校の学校数を示したもので、平成 15 年度から平成 30 年度で 14 校から 10 校に減少しています。また、青の折れ線グラフは工業高校の生徒数を示したもので、9,086 名から 6,498 名と約 2,500 名減少しています。また、先日、我が自民党団で都筑区の工業団地を視察に行った際に、ある工場の経営者の方から、今は工業高校から卒業生を受け入れるのは大変に困難になっているとの事。今後、横浜市のものづくりを担う人材が不足していく、もう既に人材が不足していると危惧しています。私は、市立高校においても、ものづくりに興味や関心を持てるよう取り組んでもらいたい

教育長

市立高校では、進路ガイダンスや職業理解講座などを通して、生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向けたキャリア教育を推進しております。多様化するユーザーニーズに柔軟に対応できるものづくり技術は、ますます重要になっており、市立高校においても、生徒のものづくりへの興味・関心をさらに高める取組を、地域や企業の協力を得ながら進めていきたいと考えております。



3 ハマ弁の利便性の向上

のりみ

先日、金沢区の中学校に訪問し、ハマ弁の受け渡しや喫食風景を視察しました。

学校現場では、生徒たちが限られた昼食時間の中で、自由にハマ弁や家庭弁当などを選択できる現在の仕組みが望ましいとの声をいただきましたが、実際に生徒・保護者のハマ弁に対する声は？

人権健康教育部長

ハマ弁を試食していただく機会として実施しました、ハマ弁デーや試食会で、実際にハマ弁を食べた生徒、保護者からは、「おいしかった」「ごはん、汁物が温かくて良かった」との感想もありました。また、ハマ弁を利用しない理由として、「おかずが冷たい」、「味が薄い」、「家のお弁当や業者弁当が好きだから」「周りで使っていないから使いにくい」等の意見がありました。

のりみ

ある中学校の 1 日の日課では、昼食に関しては、準備に 5 分、実際に食べる時間として 15 分となっています。この時間では、小学校の給食と同じように、1 クラス分をまとめて保温容器に入れて教室に運搬し、教室で食器に盛り付け配膳する食缶方式は難しいと思います。また、準備時間や昼食時間を延ばせば、部活動や下校の時間にも影響することになります。しかし、ハマ弁は、一人ひとり弁当箱に配膳された状態で配達されるため、学校現場の担が少ない昼食の提供方法だと思いますが、食缶方式での給食にした場合の学校現場への影響は？

人権健康教育部長

食缶方式による給食とする場合ですけれども、小学校の給食と同じように、1 クラス分をまとめて保温容器に入れて教室に運搬し、教室で食器に盛り付け配膳することになります。そのため、生徒による配膳や片づけをする時間を確保する必要があり、時間割の変更など、学校現場への影響が大きいと考えております。

のりみ

私はハマ弁を試食しましたが、ハマ弁は栄養価にも気をつけて調理されているため、味つけのしっかりとした食事に慣れた生徒には、味がやや薄く感じられるかもしれません。

また、ハマ弁はデリバリー型の昼食であり、学校外で調理して配達されるため、生野菜を入れられず、おかずは冷まして提供する必要があるなど、衛生面での制限があります。

家庭弁当や業者弁当のように学校現場に根付いた環境に、新規でハマ弁が導入されたので浸透するには時間がかかると思います。しかし、利用者を増やすためには、ハマ弁を選んでもらう工夫が必要だと思います。例えば、ハマ弁の利便性を高める取組は必要だと思います。しかし、家事や子育てなど忙しい日々が続く保護者としては、ハマ弁を月単位で注文する場合には定額制とするなど、手続きを簡素化した方が注文しやすくなると思いますが、ハマ弁の更なる利便性の向上に向けた取組は？

教育長

夏季休業明けより実施いたしました、メニューの刷新やモニター校 12 校での当日注文の試行によりまして、新たにハマ弁を利用する生徒の増加につなげたいと考えております。また、より便利に継続して利用できるようにするために、今回導入した一括注文を周知するほか、月単位で注文できるものですが、多くの方に利用していただけるように登録率を引き上げる取組の実施など、より一層ハマ弁を選びやすい環境整備を進めてまいります。

大道中学校の訪問の様子



4 アフリカとの一校一国の取組

のりみ

4月に日本アフリカ友好横浜市会議員連盟で、コートジボワール共和国を訪問、港南区の桜丘小学校と友好校であるアトランティッド国立小学校を訪問しました。そこで、横浜の子供達にもアフリカの事を知って貰いたいと思いました。これまでのアフリカとの一校一国の取組例は？

国際教育等担当部長

これまで、大使等による学校訪問や現地の子どもと作品を贈りあうといった活動のほか、留学生を学校に招いて、その国の生活や文化を紹介したり、学校給食で交流国の郷土料理を食べる活動が行われています。

現在、1枚の大きな絵画を現地の交流校と本市の学校が共同で作成する活動も始めており、交流校とテーマを話し合い、作業を分担して絵画を完成させていくものです。



教育委員会では、27万人を超える子どもたちを健やかに育むため、多岐にわたる課題に取り組んでいます。私は3人の息子達を育てながらPTA活動も行なってきました。その経験も踏まえ今は議員活動を行なっています。

『平成29年度実績 横浜市教育委員会 点検・評価報告書』を読んでみて、後半部分の有識者と教育委員の方々と横浜市教育委員会への主な取組に関する課題等を様々な観点から議論しているのが大変に興味深いものがありました。その中で、鯉淵教育長とは前職のこども青少年局、健康福祉局局長時代から様々な議論を重ねてきましたので、特にいじめにおける重大事態への取組に関しての福祉の観点からの発言を伺い、教育委員会運営に対し期待がもてる感じています。これからも更なる議論を重ねて、より良い横浜の教育の為に邁進して参ります。

のりみ

アフリカ各国との交流活動を支援するための取組は？

国際教育等担当部長

学校が交流活動の調整を行っていくにあたっては、言語や文化の違いなどにより、苦労することも考えられます。そこで、現在、国際局の協力を得て、JICAの関連団体である青年海外協力協会にサポートをしてもらったり、大使等の訪問にあたっての調整、交流国からの留学生や交流校の紹介などを行っていただいている。

のりみ

2019年には、横浜でアフリカ会議が開催されますので、これを契機として子どもたちのアフリカへの理解を深めるとともに、会議開催に向けた機運が醸成されていくことが期待されます。アフリカとの一校一国を進めるにあたっての考えは？

教育長

アフリカとの一校一国の取組を進め、学校がアフリカの特定の国と交流を行うことで、その国での文化的な豊かさや、社会的な課題などに触れ、アフリカへの理解を深めることができると考えております。

「アフリカに一番近い都市」として、次世代を担う横浜の子どもたちが、アフリカとのつながりを強めていく取組をより一層推進していきたいと考えております。

5 文化財の保存と活用

のりみ

文化財の計画的な保存・活用や地方文化財保護行政の推進力の強化を図ることが必要となるなど、文化財を取り巻く環境も大きく変化していくことが想定されますが、横浜の文化財の現状と課題は？

教育政策推進等担当部長

本市の指定及び登録文化財は、年々増加しており、現在466件となっています。時代区分では原始・古代から近現代まで、種類では有形文化財、無形民俗文化財、天然記念物など多岐にわたります。そういった中、文化財の所有者の高齢化に伴う負担感や、老朽化に伴う修理費用の増加など、文化財の維持が難しくなっている状況があり、これらを今後どのように保存・活用していくかも大きな課題となっています。

のりみ

私の地元である金沢区にある称名寺や旧長濱検疫所一号停留所があったり、伝統芸能である木遣(きや)りやお囃子(はやし)なども盛んで、地域の魅力づくりにも寄与しています。また、市内にも多くの文化財があり、子どもたちにも多くの魅力を伝えていくことが望まれますが、文化財と学校教育の連携状況は？

教育政策推進等担当部長

多くの子どもたちが学校教育の一環として横浜市歴史博物館や横浜開港資料館などを見学し、横浜の歴史を学んでいます。博物館からは、学芸員が学校へ出向いて出前授業を行っています。内容としては、吉田新田の開拓や土器づくりなど歴史に関心を持てるような取組をすすめています。

さらに、学校にある歴史資料を整理し、歴史資料室として再生するなど、文化財と学校教育の連携に努めています。

金沢八景駅前に交番を！

瀬戸町内会や商店会から金沢八景駅前に交番が欲しいとの要望がありました。警察へも相談に行きましたら、増設の考えはないとの返答を貰って困っていました。そこで、議会で金沢八景駅前にある横浜市の土地を警察官立ち寄り所として使用することを条件として売却する事を提案しました。お陰様で『地域防犯連絡所』を設置の条件で2段階一般入札が行われ民間の方が購入し建物は年内に完成予定です。歴史と文化を誇る金沢区には毎年多くの方が訪れていましたし、防犯の面からも金沢八景駅前に警察官の方が立寄る場所が確保出来た事は大きな財産だと思っています。これからも地元の課題解決の為に働いて参ります。

